

令和3年度 第2回安城市市民協働推進会議 議事要旨

日時	令和4年1月22（土） 午後1時30分～午後4時	
場所	安城市民交流センター2階 多目的ホール	
出席者	委員	加藤会長、大川委員、濱口委員、小森委員、近藤委員、廣田委員、清水委員、加藤賀委員、園田委員 (欠席：宮原副会長、榊原正委員、野上委員、野村委員、榊原直委員)
	事務局	杉浦市民生活部長、長谷市民協働課長、杉浦市民協働係長、市民協働係職員（浅井、近藤、島、太田）
次第	1 市民憲章唱和（省略） 2 会長あいさつ 3 議題 令和4年度安城市市民活動補助金交付対象事業 本審査 （公開プレゼンテーション） 4 その他	

今回の会議の目的

- ・ 令和4年度安城市市民活動補助金交付対象事業の採択決定について

議事要旨

（事務局）

皆様こんにちは。本日は週末のお忙しいなか、市民活動補助金本審査（公開プレゼンテーション）にお集まりいただき、誠にありがとうございます。

現在、新型コロナウイルスの影響で、マスクをつけての出席をお願いさせていただいております。説明やご意見等の発言につきましては、マスクをつけたまま行うことを、ご了承いただきたいと思います。

それでは、本日の委員の出席状況について、まずはご出席委員の皆様のご紹介をさせていただきます。本来であれば、委員の皆様から自己紹介をしていただくところですが、新型コロナウイルス感染防止のため、今回は、私が委員の皆様のご所属と氏名を申し上げて紹介をさせていただきます。

【出席委員・欠席委員紹介】

欠席のご連絡をいただいている委員の方は5名ですので、ただいまの出席委員は安城市市民協働推進会議規則第3条第2項に規定します委員の半数以上に達しており、会議は成立しておりますことをご報告させていただきます。

それでは、ただ今から、令和4年度安城市市民活動補助金本審査を開始させていただきます。なお、この本審査は、令和3年度第2回安城市市民協働推進会議を兼ねておりますので、よろしくお願いたします。

ここからは、市民協働係長が進行を務めさせていただきます。

1 市民憲章唱和（省略）

（事務局）

皆様、こんにちは。市民協働課市民協働係長 杉浦と申します。

次第1「市民憲章唱和」につきましては、全員での発声を控えるため、今回は省略させていただきます。

2 会長あいさつ

では、次第2「会長あいさつ」 加藤会長からご挨拶をお願いいたします。

(会長)

皆様、こんにちは。令和4年度安城市市民活動補助金本審査に出席をいただきましてありがとうございます。

本日は来年度に実施していただく、市民活動補助制度の対象事業を決定する大変重要な会議になります。市民活動補助金は、市民の皆さまからのご寄附と、その同額を市から積立する「市民協働推進基金」が原資となっております。市民の皆様からいただいた大切なご寄附と税金が財源となっておりますので、委員の皆さまにおかれましては、ぜひ公平・公正な観点でご審査いただきますようお願いさせていただきます。

昨年度はコロナ禍の中、慣れないオンラインでの審査会という異例の開催となりましたが、今回は従来通り皆様と顔を合わせての開催となり、良かったと思います。先日、各団体様のプレゼン内容の動画などがメール配信されましたので、事前に視聴していただいたことと思います。動画はよく分からない点などを都度再生しながら確認できるなど、便利な点もあり、本日の審査がしやすくなっていることと思います。

委員の皆様方には、コロナ禍の中でなかなか思うように活動できない状況下でも、意欲的に活動しようと補助金申請されました団体様方に対し、応援する気持ちを持って、温かいお言葉もかけていただきますこともお願いいたします。

申請団体の皆様方におかれましては、日ごろの活動がお忙しい中、ご準備を進めていただきありがとうございました。本日は大いに皆様の活動や団体のPRをしていただきたいと思います。

よろしくをお願いいたします。

2 議題

令和4年度安城市市民活動補助金交付対象事業 本審査

(事務局)

それでは、次第3「議題」令和4年度安城市市民活動補助金本審査、公開プレゼンテーションに移ります。まず、スケジュールと審査方法等につきまして、市民協働課市民協働係の浅井より説明させていただきます。

(事務局)

【説明】

(事務局)

スケジュール等の説明が終わりました。何かご不明な点等はございませんでしたでしょうか。ございましたら、挙手をお願いいたします。

それでは、申請団体によるプレゼンテーションに移らせていただく前に、行政協働型事業の市からの提案テーマについて、テーマを設定した市民協働課から説明をさせ

ていただきます。

【市民協働課 行政協働型事業（市からのテーマ） 説明】

このテーマに応募していただきました安城市市民協働サポータークラブ様は準備をお願いします。

それでは、プログラム番号1番、行政協働型事業、安城市市民協働サポータークラブ様の「協働事業事例集発行事業」について発表していただきます。それでは発表をお願いします。

【安城市市民協働サポータークラブ 事業説明】

（事務局）

ありがとうございました。それでは、質疑応答に移ります。

ご質問のある委員の方は、挙手をお願いします。また、応援コメント等もあれば、ぜひお願いいたします。

（委員）

ご説明ありがとうございました。ひとつ質問ですが、協働事例について募集を行って多数来た場合は、当然どこにするか選定されると思うのですが、選定される時の軸とか、こういった事業を選ぼうといった軸など、もし今、決まっていたら、教えていただければと思います。

（安城市市民協働サポータークラブ）

5年間、こういった補助金事業があり、協働事例をいくつか知っているのですが、できるだけ効果が高そうなもの、他の団体がその事例をみて、それと似たようなこと、もう少し工夫するとうちも似たようなことができる、そのような視点でみていきたいと思っています。つまり、1回限りのイベントで、その後あまりされないようなものと、参考にならないかなと思います。あと、団体によっては協働をよくやっていて、コネクトの1番や2番など、今まで作ったものに載っている団体もありますので、そのあたりも考えて、できる限り多くの団体さんを紹介しつつ、参考になるものという事で、サポータークラブの方で選んでいきたいと思っています。

（委員）

ありがとうございました。たぶん、協働の次のステップとして、継続性という部分をけっこう皆さん知りたいと思うので、その部分をぜひ入れていただけるといいかなと思いました。ありがとうございました。

（事務局）

その他、ご質問いかがでしょうか。

（委員）

ありがとうございました。今後、編集委員の募集というところで、若い方を想定されているということなのですが、若い方の募集の方法や周知の方法などは、どのように今お考えか、もしあれば教えていただければと思います。

(安城市市民協働サポータークラブ)

令和4年度からの事業で市民協働課との協働事業なので、市民協働課を通して広報あんにょうに掲載してもらうということ、まずやります。あと、市民活動センターにふらっとみえる方とか、ボランティアをやってみたいけど、どういったボランティアがあるか分からない方とか訪れることもありますので、月1回そういったボランティアのカフェとか、自由に集まりましょう、出入り自由ですといった、そういうところに出かけて声をかけたり、オンライン団体交流会のボランティアをやっている方に、簡単に作ったチラシなどで呼びかけたりということをおもっています。

(事務局)

よろしいでしょうか。それでは、以上で質疑応答を終了とさせていただきます。
安城市市民協働サポータークラブの皆様、どうもありがとうございました。
それでは、委員の方は採点表にご記入のほど、よろしく願いいたします。
また、次の発表者の方はご準備をお願いします。

(事務局)

それでは、プログラム番号2番、行政協働型事業、あんにょうまざりん様の「外国にルーツを持つ子ども達の就学準備教室事業」について発表していただきます。
協働する課は、市民協働課、保育課、学校教育課です。それでは、発表をお願いします。

【あんにょうまざりん 事業説明（動画再生）】

(事務局)

ありがとうございました。それでは、質疑応答に移ります。ご質問のある委員の方は挙手をお願いします。

(委員)

発表をありがとうございます。日ごろの活動も敬意を払いたいです。
私も企業で現役時代、企業が支援する、補助金を出す活動で、豊橋で同じような活動をされているところを支援に入ったこともあります。また、安城市の防犯リーダーをやっており、コロナ禍であまりできていないのですが、小学校の防犯活動に警察や市民安全課と一緒にしています。そのときに小学校1、2年生を相手にしますが、これは大変だなと感じました。祥南小学校と二本木小学校にも行ったことがあり、たぶんここが安城市内で割と生徒が多いところだと思うのですが、すごく大変です。日頃のご苦労とか、活動にあたってのご苦労されている点を少しお聞かせ願えたらと思います。

(あんにょうまざりん)

ありがとうございます。私たちは活動を始めまして、まだ2年足らずですが、本当に関心のある方は、私たちがこのような広報をしますと、率先して参加して下さるのですが、なかなか情報が届かない方たちに情報を届けることが一番難しいと考えています。今よく言われている見えない子どもたちってことですが、親御さんたち、子どもさんたちにも情報がうまく行き届かない方が、一番助けが必要とおもっているの

で、そこが一番難しいところだと思っています。

(会長)

大変良い発表をありがとうございました。審査項目に沿った動画になっており、審査のお手伝いをしていただくということで、私たち審査する立場から、理解しやすいプレゼンであったと思います。今後の活躍を期待しております。

(あんじょうまざりん)

ありがとうございます。昨年度参加したときには、私たちも勉強不足でよく分からなかったものですから、いかに分かりやすくするという事に努めたので、褒めていただき光栄に思います。ありがとうございました。

(事務局)

以上で質疑応答を終了させていただきます。あんじょうまざりんの皆様、どうもありがとうございました。それでは、次の発表者の方はご準備をお願いします。委員の方々につきましては、採点表のご記入をお願いいたします。

ここからは協働提案型事業の発表になります。プログラム番号3番、和泉丈山会様の「石川丈山翁没後350年記念事業」について発表していただきます。

それでは、発表をお願いします。

【和泉丈山会 事業説明】

(事務局)

ありがとうございました。それでは、質疑応答に移ります。ご質問のある方、応援メッセージのある委員の方は、挙手をお願いします。

(委員)

発表ありがとうございます。歴史に興味のある人は、石川丈山とか石川数正とかいっても分かると思うのですが、安城市内でも石川丈山という人をどれくらいの方がご存知かなという状況です。丈山小学校は、当然その地域の学校なので、ご存知の方は多いと思うのですが、ぜひ、安城で石川丈山というのは市民であれば誰でも知っているという活動にしていだけるといいかなと思います。たまたま今回は350周年という形で手広くやられると思うのですが、これからも、できればずっと継続的に安城市内で石川丈山を知ってもらえる取り組みをやりたいということが、私の要望ですので、ひとつよろしく願いできればと思います。

(和泉丈山会)

ありがとうございました。今後も勉強会など、終わってからも継続してやっていきたいと思っています。ただ、予算の続く範囲内で頑張りますので、よろしく願います。

(委員)

ご説明ありがとうございました。チラシの配布方法なのですが、公民館に配架してもらおうようなイメージなのでしょうか。

(和泉丈山会)

はい、そうです。

(委員)

せっかくなので、もう少し広い範囲にさせていただけるといいのかなと思います。今、インターネットを通じての発信であれば、広告費等もかからないので、データ化されたときには、市民協働課を通して委員の方にデータを送っていただければ、たぶん委員の方も広報に協力していただけるといいますので、こういったこともご検討いただければと思います。ありがとうございました。

(会長)

先ほど、石川丈山とはという話もありましたけど、丈山小学校では、石川丈山、都築弥厚、岡本兵松の3人は、郷土の3偉人、いずみ野のほまれということで、取り扱われております。丈山学区の子ども会だけでなく、丈山小学校自体を巻き込んだ記念事業を展開していただけるといいなと思っております。よろしく申し上げます。

(委員)

石川丈山とは関係ないのですが、話の中で渋谷良平が出てきて、たぶんこの中で渋谷良平を知っている方はいないと思うのですが、ぜひ自由民権運動の渋谷良平も取り上げていただけるといいなと思います。

(和泉丈山会)

渋谷良平が、丈山公園、今は丈山苑ですが、丈山公園というもの、昔その時代は畑にされたり家が建ったり虫食い状態だったところを買い上げて、丈山庭として復元されたものです。渋谷良平は、現在の中日新聞の創刊者でもあります。

(事務局)

以上で質疑応答を終了させていただきます。和泉丈山会の皆様、どうもありがとうございました。委員の方は採点表のご記入をお願いいたします。

ここで一旦換気を行いますので、次の発表時間までしばらくお待ちいただきたいと思っております。

それでは、プログラム番号4番、協働提案型事業、映&音 plus 様の「短編映画 Inner World 製作」について発表していただきます。それでは、発表をお願いします。

【映&音 plus 事業説明】

(事務局)

ありがとうございました。それでは、質疑応答に移ります。ご質問のある委員の方は、挙手をお願いします。

(委員)

貴重な取り組みをありがとうございます。安城みたいな地方都市から情報発信する

ためには、やはり画像はすごくいいと思います。安城の文化の底上げのために、とても役立つと思いますので、ぜひ盛り上げて活動をしていただければと思います。よろしく申し上げます。

(映&音 plus)

ありがとうございます。安城の文化とか今の風景とか残していけたらと思っております。

(事務局)

ありがとうございました。以上で質疑応答を終了させていただきます。映&音 plus の皆様、ありがとうございました。それでは、次の発表者の方はご準備をお願いします。委員の方々につきましては、採点表のご記入をお願いいたします。

それでは、プログラム番号5番、協働提案型事業、学校が苦手な子と親の居場所 おこのみ会様の「学校が苦手な子と親の居場所 おこのみ会」について発表させていただきます。それでは、発表をお願いします。

【学校が苦手な子と親の居場所 おこのみ会 事業説明（動画再生）】

ありがとうございました。それでは、質疑応答に移ります。ご質問のある委員の方は挙手をお願いします。

(委員)

ご報告ありがとうございます。子どもたちは多種多様であると思います。一人として同じ子はいないし、親も同じだと思います。ですので、活動としてはすごく難しいのかなと分かるのですが、その辺の実感というか、会を運営することのご苦労などお聞かせ願えたらと思います。

(学校が苦手な子と親の居場所 おこのみ会)

今言われたとおり、すごく多様です。ひとつに不登校と言っても不登校になった理由も違えば、その子の持っている良いところとか得意なところとかも全部違うので、そういうところを引き出すために、サポーターの協力もいただいて、その子らしさ、その子のやりたいという気持ちを大切にするように、言葉を引き出したり、様子を見ながら、この子にはこういう興味があるのかなとか、そういうところを発見しながらというか、そのような感じで活動を続けています。

(会長)

おこのみ会さんは2回目の申請ということで、協働、学校以外での学びの場の提供は、着実な実績を上げていると思います。更なる事業展開を期待しています。また、この種のボランティアの皆さんとの情報交換も通じて、おこのみ会さんがリーダーとして、ますます他のグループを引っ張っていただければ、安城市のこういった問題について、先の展望が開けるかなと大変期待しております。よろしく申し上げます。

(事務局)

以上で質疑応答を終了させていただきます。学校が苦手な子と親の居場所 おこのみ会の皆様、どうもありがとうございました。それでは、次の発表者の方はご準備をお願いします。委員の方は採点表のご記入をお願いいたします。

それでは、プログラム番号6番、協働提案型事業、Anjoyともだち様の「Anjoy 国際交流フェスティバル」について発表していただきます。それでは、発表をお願いします。

【Anjoyともだち 事業説明（動画再生）】

（事務局）

ありがとうございました。それでは、質疑応答に移ります。ご質問のある委員の方は、挙手をお願いします。

（委員）

ご説明ありがとうございます。大変良い取り組みだと思うので、ぜひ成功させていただければと思います。それで、フェスティバルというのはひとつの目標だと思うのです。重要なのは、それに至るプロセスと日ごろの活動で、それがその一つのイベントに集約されると思います。ただ、これを一所懸命にやっていると、ここで疲れてしまうことが多くあるみたいですので、この後の活動をどうやって継続的に続けていくか、その辺もひとつ考えながら、正式に決まる4月1日から、そこのプロセスを大事にやっていただければいいかなと思います。

今後も、外国人は増えることはあっても減ることはないと思うので、その中で、日本国籍の市民と外国籍の市民の人が、一緒によりよい安城をつくっていくために、ぜひ活躍いただければというふうに思いますので、よろしく願いいたします。

（Anjoyともだち）

この事業を通して出てきた皆さんの小さなニーズなどを引き出しながら、今後の活動に活かしていけたらと思いますし、また、私たちの団体ではたいしてできない問題は、他の団体さんにシェアしていただいて、よりよい安城になるために活かしていきたいと思っています。

（委員）

報告お疲れさまでした。質問ではないのですが、今回このプレゼンに挑まれた団体さんで他の団体さんも、外国籍の方を支援していきたいという団体さんが多いです。やはり今の社会情勢の中で、先ほど委員の方からもご発言がありましたが、外国籍の方がどんどん増えていって、言葉が良いか悪いか分からないのですが、大人の事情で子どもが犠牲になっているところもあるので、こういう団体さん同士で情報共有しながら、いいところ取りして、自分たちの団体はこの情報を使えるだとか、そういうふうに自分たちだけで頑張らずに協働し合えば、情報もスムーズに集まるのかなと思ったので、発言させていただきました。以上です。

（Anjoyともだち）

ありがとうございます。先ほどおっしゃられたように子どももそうなのですが、実はママたちもご主人の転勤の都合で来てしまったりとか、来たくて来たわけではない

というママにもたくさん出会っています。そういう方々にもサポートになるようにしていきたいと思えますし、このフェスティバルを通して、安城市内にどのような団体があるのかということも、お互いが知ることによって、交流がもてるようになるという趣旨もあります。そのように良いきっかけになればと思っています。

(会長)

事前の質問にも少し書きましたが、多文化共生に繋がるということで、大変良い事業であると思えます。ただ、参加者200名と予定されておりますので、どうなるか分かりませんが、万が一のときにも、何らかのかたちで成果が残せたとなるよう、日ごろの活動の中でやっていっていただいて、もし会そのものがどうしても無理なときは、規模の縮小など、対応の仕方としてはいろいろあるかと思えますので、最後まであきらめず頑張っていたいただきたいと思います。

(Anjoy ともだち)

ありがとうございました。皆様のご協力、他団体の方たちの協力を得ながら、成功をさせたいと思っています。ありがとうございました。

(事務局)

以上で質疑応答を終了させていただきます。Anjoy ともだちの皆様、どうもありがとうございました。本日予定しておりました事業発表は全て終了いたしました。ご参加いただきました皆様、本当にありがとうございました。

(事務局)

冒頭の概要説明で申し上げました通り、本日の本審査結果につきましては、2月中旬、申請団体の皆様に通知をさせていただきます。市公式ウェブサイトや広報あんじょうに掲載いたしますので、一般の方はそちらをご覧くださいませようよろしく願います。

それではこの後、採択決定を行います。発表者の皆様、一般参加の皆様は、ご退出いただきますようよろしくお願いいたします。

委員の皆様におかれましては、採点表を事務局にお渡しいただきましてから、休憩をとっていただきたいと思います。また、休憩中に、机を移動させていただきますのでご承知おきください。15分後の3時10分に、再開いたしますのでよろしくお願いいたします。

<休憩・ここからは非公開 本審査の採点結果報告・採択決定>

(会長)

今、たくさん皆様からご意見をいただきました。事務局の方で反映できるところはしていただき、また次回の会議の場にも出していただければと思います。ここで、今日出ました意見、ご指摘といったものは、事業効果の向上に役立てていただきたいと思います。進行を事務局にお返しします。

(事務局)

ありがとうございました。本日の結果は、市長に報告させていただきました後、2月中旬を目途に、各団体様に通知をさせていただく予定ですので、よろしくお願いいたします。

たします。これにて、次第3「議題」を終了させていただきます。

次第4「その他」につきましては、特にございませんので、これで会議は終了となります。

本日は、長時間にわたり、慎重な審査をしていただきまして、誠にありがとうございました。委員の皆様のご尽力のおかげで滞りなく、安城市市民活動補助金本審査を終了することができました。

なお、次回の会議につきましては、例年どおり7月頃を予定しております。正式なご案内は、改めて通知させていただきますのでよろしくお願いいたします。

これをもちまして、令和4年度安城市市民活動補助金本審査及び令和3年度第2回安城市市民協働推進会議を終了いたします。本日は誠にありがとうございました。

決定事項

- ・令和4年度市民活動補助金交付申請事業 全9事業 採択

対応検討事項

- ・市民提案型スタート事業審査項目等について